



平成26年6月9日

各 位

会社名 小池酸素工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 横田 修  
(コード番号 6137 東証第2部)  
問合せ先 常務取締役管理部長 岡崎 隆  
(TEL 03 - 3624 - 3111)

(訂正・数値データ訂正) 「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成26年5月13日に発表いたしました「平成26年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

### 記

#### 1. 訂正理由

「退職給付に関する会計基準」等の適用に当たり、記載内容の一部に誤りがありましたので、訂正するものであります。

#### 2. 訂正箇所

サマリー情報 1ページ

1. 平成26年3月期の連結業績(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(2) 連結財政状態

〈訂正前〉

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期	<u>52,469</u>	26,013	<u>46.3</u>	586.33
25年3月期	49,355	24,704	46.9	559.26

(参考) 自己資本 26年3月期 24,277百万円 25年3月期 23,167百万円

〈訂正後〉

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期	<u>52,628</u>	26,013	<u>46.1</u>	586.33
25年3月期	49,355	24,704	46.9	559.26

(参考) 自己資本 26年3月期 24,277百万円 25年3月期 23,167百万円

4 ページ 1. 経営成績・財政状態に関する分析

(2) 財政状態に関する分析

〈訂正前〉

①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当連結会計年度末の総資産は524億69百万円で、前連結会計年度末比31億14百万円の増加となりました。

流動資産合計は312億81百万円で、前連結会計年度末比19億11百万円の増加となりました。これは主に売上増加による受取手形及び売掛金17億60百万円増加によるものです。

固定資産合計は211億88百万円で、前連結会計年度末比12億3百万円の増加となりました。これは主に設備投資による有形固定資産10億82百万円増加によるものです。

流動負債合計は199億41百万円で、前連結会計年度末比16億55百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金10億39百万円増加、短期借入金2億86百万円増加によるものです。

固定負債合計は65億15百万円で、前連結会計年度末比1億51百万円の増加となりました。これは主に長期借入金1億18百万円増加によるものです。

純資産合計は260億13百万円で、前連結会計年度末比13億8百万円の増加となりました。これは主に円安の進行による為替換算調整勘定12億31百万円増加によるものです。

この結果、自己資本比率は、46.3%となりました。

(中略)

(キャッシュ・フロー指標のトレンド)

	第91期 平成26年3月期
自己資本比率 (%)	<u>46.3</u>
時価ベースの自己資本比率 (%)	<u>17.3</u>
債務償還年数 (年)	16.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	3.3

(後略)

〈訂正後〉

①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当連結会計年度末の総資産は526億28百万円で、前連結会計年度末比32億73百万円の増加となりました。

流動資産合計は312億81百万円で、前連結会計年度末比19億11百万円の増加となりました。これは主に売上増加による受取手形及び売掛金17億60百万円増加によるものです。

固定資産合計は213億47百万円で、前連結会計年度末比13億61百万円の増加となりました。これは主に設備投資による有形固定資産10億82百万円増加によるものです。

流動負債合計は199億41百万円で、前連結会計年度末比16億55百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金10億39百万円増加、短期借入金2億86百万円増加によるものです。

固定負債合計は66億73百万円で、前連結会計年度末比3億9百万円の増加となりました。これは主に長期借入金1億18百万円増加によるものです。

純資産合計は260億13百万円で、前連結会計年度末比13億8百万円の増加となりました。これは主に円安の進行による為替換算調整勘定12億31百万円増加によるものです。

この結果、自己資本比率は、46.1%となりました。

(中略)

(キャッシュ・フロー指標のトレンド)

	第91期 平成26年3月期
自己資本比率 (%)	<u>46.1</u>
時価ベースの自己資本比率 (%)	<u>17.2</u>
債務償還年数 (年)	16.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	3.3

(後略)

8 ページ 4. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

〈訂正前〉

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,514	2,810
繰延税金資産	103	88
その他	1,337	1,470
貸倒引当金	△ 139	△ 142
投資その他の資産合計	<u>3,816</u>	<u>4,227</u>
固定資産合計	<u>19,985</u>	<u>21,188</u>
資産合計	<u>49,355</u>	<u>52,469</u>

〈訂正後〉

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,514	2,810
繰延税金資産	103	88
退職給付に係る資産	—	158
その他	1,337	1,470
貸倒引当金	△ 139	△ 142
投資その他の資産合計	<u>3,816</u>	<u>4,386</u>
固定資産合計	<u>19,985</u>	<u>21,347</u>
資産合計	<u>49,355</u>	<u>52,628</u>

9 ページ 4. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

〈訂正前〉

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
(中略)		
固定負債		
社債	100	60
長期借入金	1,714	1,833
リース債務	396	520
繰延税金負債	1,897	2,262
再評価に係る繰延税金負債	1,258	1,253
退職給付引当金	262	—
役員退職慰労引当金	231	229
退職給付に係る負債	—	5
資産除去債務	13	14
その他	489	336
固定負債合計	6,364	6,515
負債合計	24,650	26,456
(中略)		
負債純資産合計	49,355	52,469

〈訂正後〉

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
(中略)		
固定負債		
社債	100	60
長期借入金	1,714	1,833
リース債務	396	520
繰延税金負債	1,897	2,262
再評価に係る繰延税金負債	1,258	1,253
退職給付引当金	262	—
役員退職慰労引当金	231	229
退職給付に係る負債	—	163
資産除去債務	13	14
その他	489	336
固定負債合計	6,364	6,673
負債合計	24,650	26,615
(中略)		
負債純資産合計	49,355	52,628

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)		(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益	1,987		559	
減価償却費	1,159		1,307	
減損損失	76		316	
のれん償却額	75		62	
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 89		△ 1	
賞与引当金の増減額 (△は減少)	36		△ 193	
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9		△ 17	
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△ 15		—	
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 18		△ 264	
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—		233	
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	24		△ 1	
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	5		14	
受取利息及び受取配当金	△ 107		△ 90	
支払利息	108		138	
固定資産除売却損益 (△は益)	△ 660		△ 40	
関係会社株式評価損	0		4	
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△ 5		△ 35	
売上債権の増減額 (△は増加)	1,049		△ 1,081	
たな卸資産の増減額 (△は増加)	949		99	
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 1,593		673	
未払消費税等の増減額 (△は減少)	51		△ 17	
その他	△ 165		△ 535	
小計	2,875		1,128	
利息及び配当金の受取額	106		91	
利息の支払額	△ 104		△ 138	
災害損失の支払額	△ 23		—	
法人税等の支払額	△ 960		△ 626	
営業活動によるキャッシュ・フロー (中略)	1,894		454	
現金及び現金同等物の期末残高	8,201		7,300	

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 平成25年 4月 1日 至 平成26年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,987	559
減価償却費	1,159	1,307
減損損失	76	316
のれん償却額	75	62
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 89	△ 1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	36	△ 193
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9	△ 17
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△ 15	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 18	△ 264
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	88
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	144
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	24	△ 1
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	5	14
受取利息及び受取配当金	△ 107	△ 90
支払利息	108	138
固定資産除売却損益 (△は益)	△ 660	△ 40
関係会社株式評価損	0	4
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△ 5	△ 35
売上債権の増減額 (△は増加)	1,049	△ 1,081
たな卸資産の増減額 (△は増加)	949	99
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 1,593	673
未払消費税等の増減額 (△は減少)	51	△ 17
その他	△ 165	△ 535
小計	2,875	1,128
利息及び配当金の受取額	106	91
利息の支払額	△ 104	△ 138
災害損失の支払額	△ 23	—
法人税等の支払額	△ 960	△ 626
営業活動によるキャッシュ・フロー (中略)	1,894	454
現金及び現金同等物の期末残高	8,201	7,300

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

〈訂正前〉

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、当連結会計年度末より適用し(ただし、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めを除く。)、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る負債として計上する方法に変更し、未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用を退職給付に係る負債に計上しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度末において、当該変更に伴う影響額をその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に加減しております。

この結果、当連結会計年度末において、退職給付に係る負債が5百万円計上されるとともに、その他の包括利益累計額が152百万円増加し、少数株主持分が5百万円減少しております。

なお、1株当たり純資産額は3円68銭増加しております。

〈訂正後〉

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、当連結会計年度末より適用し(ただし、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めを除く。)、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る資産及び退職給付に係る負債として計上する方法に変更し、未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用を退職給付に係る資産及び退職給付に係る負債に計上しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度末において、当該変更に伴う影響額をその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に加減しております。

この結果、当連結会計年度末において、退職給付に係る資産が158百万円、退職給付に係る負債が163百万円計上されるとともに、その他の包括利益累計額が152百万円増加し、少数株主持分が5百万円減少しております。

なお、1株当たり純資産額は3円68銭増加しております。

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(訂正前)

(セグメント情報等)

当連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	17,524	15,477	7,614	40,616	1,074	41,690	—	41,690
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	17,524	15,477	7,614	40,616	1,074	41,690	—	41,690
セグメント利益	225	1,066	128	1,419	24	1,444	△794	649
セグメント資産	21,104	11,968	4,253	37,326	507	37,833	14,636	52,469
その他の項目								
減価償却費	608	613	37	1,260	12	1,272	34	1,307
のれんの償却額	41	21	—	62	—	62	—	62
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	1,097	790	58	1,945	—	1,945	262	2,208

(中略)

## セグメント資産

前連結会計年度におけるセグメント資産の調整額14,287百万円には、全社資産の金額14,286百万円が含まれており、その主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び管理部門に係る資産等であります。当連結会計年度におけるセグメント資産の調整額14,636百万円には、全社資産の金額14,633百万円が含まれており、その主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び管理部門に係る資産等であります。

(後略)



〈訂正後〉

(セグメント情報等)

当連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	機械装置	高圧ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	17,524	15,477	7,614	40,616	1,074	41,690	—	41,690
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	17,524	15,477	7,614	40,616	1,074	41,690	—	41,690
セグメント利益	225	1,066	128	1,419	24	1,444	△794	649
セグメント資産	21,104	11,968	4,253	37,326	507	37,833	<u>14,794</u>	<u>52,628</u>
その他の項目								
減価償却費	608	613	37	1,260	12	1,272	34	1,307
のれんの償却額	41	21	—	62	—	62	—	62
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	1,097	790	58	1,945	—	1,945	262	2,208

(中略)

セグメント資産

前連結会計年度におけるセグメント資産の調整額14,287百万円には、全社資産の金額14,286百万円が含まれており、その主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び管理部門に係る資産等であります。当連結会計年度におけるセグメント資産の調整額14,794百万円には、全社資産の金額14,792百万円が含まれており、その主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び管理部門に係る資産等であります。

(後略)

以 上